



進路指導だより

～一人一人のよりよい生活を考えて～

令和6年10月28日発行

茨城県立結城特別支援学校
進路指導グループ

高等部生の第Ⅱ期現場・校内実習が無事終了しました。

9月30日～10月11日までの10日間で行われた、第Ⅱ期現場・校内実習も無事終了しました。高等部生のみなさん、10日間の実習本当にお疲れさまでした。今回の実習で成果と課題がみられたことと思います。ぜひこれからの学校生活に生かしてほしいと思います。第Ⅱ期現場・校内実習の詳細につきましては、次号にて紹介させていただきます。

今回は、これまでの現場・校内実習を経験してきた中で、『働く上で必要な』と感じたことを紹介させていただきます。テーマは「意欲」です。



『意欲（頑張る気持ち）』

意欲



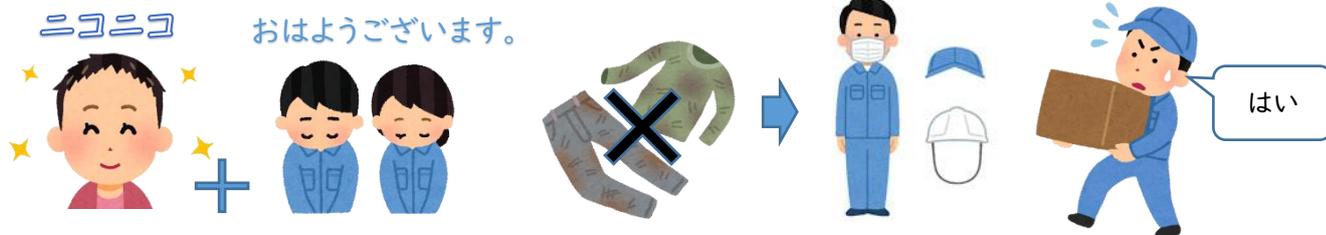
『意欲』ってなんだろう?? 考えたことはありますか??

他の言葉で表現すれば、『頑張りますという気持ち』『やる気』と言えると思います。ただ、ここで注意をしなければいけないのは、『気持ち』『やる気』は、目には見えないということです。心の中に、いくら「頑張ります」という気持ちがあっても、周りの人には分かって

てもらえません。朝出勤すると、会社や福祉施設の人が「〇〇さん、今日は頑張って働いてくれますか?」など、いちいち確認はしません。では、どのようにして周りの人に意欲を伝えればよいのでしょうか?

- それは、
- ※ 朝一番の「おはようございます」の挨拶が、大きな声で、笑顔でできているか?
 - ※ きちんと洗濯された会社の制服を、正しく着用しているか?
 - ※ 「〇〇さん、あそこの段ボール箱の商品、運んできて」と頼まれたら、「はい」と返事をして、さっと行動することができるか?

などの ひとつひとつの言葉や行動で、『意欲』は周りの人に伝わっていきます。



このようなことから、普段の学校生活でも、生徒の皆さんに『意欲』が言葉や行動に出ることを求めています。現場・校内実習の時だけでなく、普段の授業の最初の「よろしくおねがいします」の声で、みんなの『意欲』が先生に伝わります。みなさんの『意欲』は先生に伝わっていますか?みなさんの姿を見て、周りの人は「頑張ってるなあ」と感じてくれるのでしょうか?今一度、普段の学校生活を振り返ってみて、自分の『意欲』が相手に伝わっているかどうかをぜひ確認してみてください。

～本校小学部での取り組み～ 『意欲（頑張る気持ち）』

がんばりシートとは

がんばりシート

いま がんばること

適切な言葉で人に気持ちを伝えることができる

「おはようございます」が自分から言える

「やっであらった時に「ありがとうございます」が言える

「〇〇お願いします」が言える

目標を設定するときのポイント

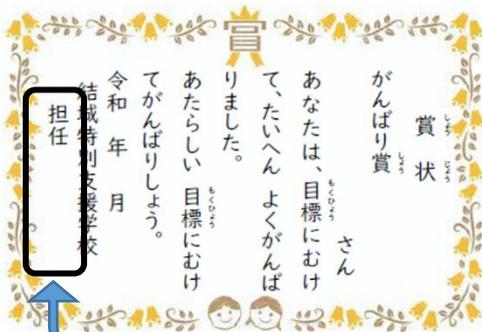
大事なことは、【少し頑張ればできること】ハードルが高いと、効果がない。目標が達成したら、少しずつ難易度を上げていく。



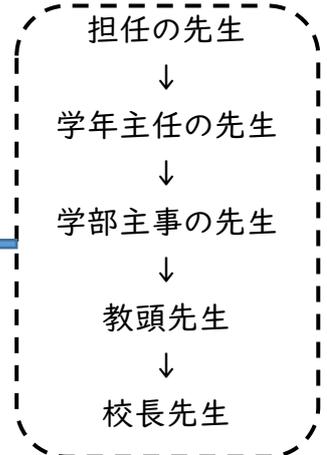
目標が達成できたら、シールやチェックを行う。目標が10回達成できたら、その目標は定着したと判断し、次の目標にステップアップ。

定着されていない場合は再度目標としてもよい。枚数がたまるほど、努力したことが明確になる。

賞状の段階



10回達成するごとに



と賞状を授与してくれる先生が代わっていきます。

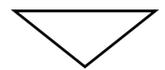


○がんばればできる目標を設定し、毎日目標を評価し、できたらシール、賞状がもらえる。



目指すべき成果

- ①日々、目標に向かい取り組む意識をもつ。
- ②家庭と連携し、児童が褒められる機会を増やす。



- ・自分から目標に取り組んでいたら効果あり!!
- ・褒められる機会が増えて満足が高まれば効果あり!!

小学部で取り組んでいる『がんばりシート』によって、子どもたちが自分から目標達成に向かってがんばろうとする意欲につながっています。ご家庭でもぜひ、褒める機会をたくさんつくって、子どもたちの意欲を高めていきましょう。